

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第239号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年9月26日（土） 15時30分ごろ	
発生場所	千葉県市川市市川橋下流10m付近 （概位 北緯35°44.0′ 東経139°53.9′）	
事故等調査の経過	平成21年9月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A モーターボート ^{チェリー フレンズ} Cherry Friends2001、5トン未満（長さ5.75m） 232-34592千葉、個人所有 B モーターボート プルメリア6、1.1トン（長さ5.66m） 232-37678千葉、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型船舶操縦士 B 船長B、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	A なし、B 負傷 3人（1人重傷、2人軽傷）	
損傷	A 船底に擦過痕 B 左右前方コーナーデッキ擦過痕、ガラス製風防破損、転覆による機器の濡損	
事故等の経過	<p>A船は、船長A及び乗船者3人が乗船し、水上スキー競技の練習のため、水上スキーヤーをえい航していた。</p> <p>船長Aは、えい航中の水上スキーヤーをバックミラーで注視しながら江戸川を市川橋付近に向けて速力約14ノットでそ航した。</p> <p>B船は、船長B及び乗船者3人が乗船し、水上スキー競技の練習のため、水上スキーヤーをえい航しながら、市川橋付近で微速で下流に向けて反転を始めた。</p> <p>船長Bは、反転したとき、A船の接近に気付いたが、A船が避航するものと考え、微速で下流に向けて航行した。</p> <p>その後、船長Bは、衝突の不安を感じ、衝突直前に右転し、機関中立とした。</p> <p>一方、船長Aは、衝突直前までB船の存在に気付かなかった。</p> <p>平成21年9月26日15時30分ごろ、市川橋付近において、A船とB船が衝突し、B船が転覆して船長Bを含むB船の乗船者3人が負傷した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視界 良好	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、江戸川の市川橋付近においてそ航中、船長Aが、えい航している水上スキーヤーに意識を集中していたため、前方の見張りを行っていない

	<p>かったものと考えられる。</p> <p>B船は、江戸川を下流に向けて航行中、船長Bが、A船と接近していることに気付いていたが、A船が避航するものと思い、適切な見張りを行っていなかったことから、衝突直前に避航動作をとったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、江戸川の市川橋付近において、A船が上流から航行中、B船が下流に向けて航行中、船長Aが前方の見張りを行わず、また、船長Bが適切な見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>